

古い漢字ドリルを ご寄贈ください

『国語のドリル』
(鷗書房、1958年)

使用済みのドリルには市場価値がありません。そのため、古書店や古物商に引き取られることなく、そのほとんどが捨てられてしまっています。誰かが漢字教育の歴史を知ろうと思い、昔の漢字ドリルを調べようとしても、そのごく一部しか見られないのです。

漢字ミュージアムでは、戦前から現在までの漢字ドリルを体系的に収集・保管し、広く漢字教育研究の役に立てたいと考えています。

Q. 古い漢字/国語ドリルが何の役に立つの？

- A. 漢字教育研究の役に立ちます。
ドリルを分析することで、字形や筆順等の漢字指導の変遷がわかります。

Q. 寄贈の方法は？

- A. 事前に、下記連絡先まで寄贈資料の詳細をお伝えください。学芸員が寄贈受け入れの可否および寄贈方法をご案内いたします。

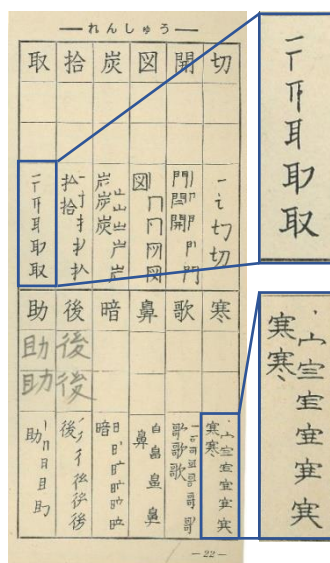
Q. いつの時代のドリル？

- A. 平成元（1988）年以前のものを主に集めています。

Q. どんなドリル？

- A. 戦後の学校直販漢字ドリルと、1960年までの漢字学習教材（国語ドリル等）を探しています。

古い国語ドリルは研究の資料となる



「取・寒」など今の教育用の筆順とは異なるものがある。このドリルからは、『筆順指導の手引き』（文部省、1958年）が発行される前の実際の筆順教育がわかる。

『こくごさんすう』
(受験研究社、1955年)

こんなものを探しています

主に1988年以前の漢字ドリルを探していますが、それ以降のものでも、お子さんが使ったものなど、学校直販*の漢字ドリルであれば寄贈を歓迎いたしますので、まずは下記までご連絡ください。

*出版社から学校に直接販売される教材

学校直販の
漢字ドリル

『くりかえし漢字ドリル』
(新学社、2018年)

戦前の
硬筆習字練習帳

『硬筆練習帳』
(岡本ノート、1926年)

戦前の国語ドリルや学習帳

『完成実習 読方算術』
(受験研究社、1930年)『小学国語学習帳』
(三友社、1922年)

1960年までの
国語ドリル

『新しい四年の国語』
(新興出版社、1948年)

*京都市学校歴史博物館蔵

お問い合わせはこちら

*募集範囲外の資料は、保管スペース確保のため寄贈の受け入れをお断りすることがございます。あらかじめご了承ください。

漢検 漢字文化研究所 寄贈担当

〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地

電話：075-757-8651（平日9:00～17:30）

E-mail: km@kanken.or.jp